

補助資料 シデコブシ自生地のようなす

1. シデコブシ自生地被害のようす



湿地全景のようす（手前は大谷川の支流）
（ビニール紐の中はハルリンドウの群生地）



湿地の全てが掘り起こされている



シデコブシの幼木も倒された。



掘り起こされた根

2. イノシシ被害の現状

・湿地の至る所を掘り返し、その結果、シデコブシの幼木を始め、林床のハルリンドウやヌマガヤ、ギボウウシ類、アギスミレなどが大きな被害を受けています。

3. これまでのイノシシ対策

- ・忌避剤の設置（木酢液や人髪の設定）
- ・動物撃退器の設置
- ・ネットの敷設

4. 今後の対応

イノシシ被害からシデコブシ（愛知県絶滅危惧Ⅱ類）や林床の希少植物をなんとか守りたいと考えます。様々な対策を行ってきましたが、イノシシの学習能力が高く慣れてくると効果が全くなくなります。日常の対応や管理の限界があり、今後は電気柵を設置したいと考えます。